

CS だより

日本キリスト教団逗子教会
牧師 小宮山剛
校長 渡辺 信

聖書のことば

「わたしの祈りが御もとに届きますように。わたしの声に耳を傾けてください」
詩編 88 編 3 節

今週もみなさんに会えなくて、とても残念ですが、引き続きユーチューブで礼拝をお届けします。今日は、5月10日と17日のお話を手紙で送りますので、ユーチューブを見なかった人も、これを読んで神様のことばに触れていただけたらうれしいです。

お知らせするのが遅くなりましたが、今年の4月から『教会学校』という名前を『CS』（Church Schoolの略）に変更しました。また、クラスの名前と編成も変わりました。各クラスの紹介を載せます。あなたは何クラスかな？

<ナルド>

対象：小学校2年生～小学校5年生

内容：当日の聖書のお話を、毎週教材を使って理解を深めます。

教会のクリスマスや・イースターイベントにも、歌や劇等で参加します。

その準備もとっても楽しい時間です。

<オリーブ>

対象：小学校6年生～中学生～高校生

内容：その日の説教について、一緒に考えたり、日頃考えていることを話し合ったりします。讃美歌は、なじみやすい、ポップなブレイズソングも取り入れて楽しく賛美をします。

高校生には、10：30からの主日礼拝への出席も、勧めます。

5月24日、31日も、ユーチューブでライブ配信しますので、見ることができる人は、一緒に礼拝しましょう。後でお便りも送ります。

みなさんの上に、神様のお守りと祝福がありますように祈っています。そして、また、逗子教会で一緒に礼拝できる日を、楽しみにしています。

* 逗子教会 CS についてのお問い合わせはこちらへどうぞ！

電話：046-873-8724 ファックス：046-854-7712 メール：cs@zushikyokai.holy.jp

新約聖書：使徒言行録 8 章 30 節～ 38 節 (229 ページ)

こどもさんびか：135 『きゅうこんのなかには』

【聖書の導き】

イ本日から、CS 礼拝共、礼拝堂に集えるようになりました。この時間を皆さんと一緒にいられることを心から神様に感謝します。学校はお休み、緊急事態宣言が出され、何処に出かけるにも悪いことの様な雰囲気がありました。

自粛が続いている時にうちの息子はほとんどの時間を自宅で過ごしました。なんか冬から時間が止まってしまったみたいな感覚がすると言っていました。確かに町に人通りはなく、テレビを見ても同じようなニュースがずっとやっていました。私たちの生活は本当に時間が止まったようになっていました。

それでも外の山々に目を移すと確かに季節は移り、花はいつもの時期にいつもと同じように咲いていました。僕はこのゆるぎない自然に神様や聖霊の働きを強く感じていました。お庭の草花は人から栄養や水を貰います。けれども山々の草花は人間からほとんど何もしてもらっていないのです。それなのにあんなに生き生きと美しいのです。これはやはり聖霊から栄養をもらっているのでは？と僕は思うのです。

先週はペンテコステでした。ペンテコステでは聖霊が、一度だけ目に見えるように現れてくれました。強い風と共に炎のような舌がお弟子さんたちの頭の上に現れたと聖書に書かれています。その後は目に見えるような事はないのですが、いつも私たちの近くにいて信じる者、祈る者に、求める者に働いているのです。

今日の聖書のお話でも聖霊の働きが書かれています。主は聖霊を通してエルサレムだけでなく、世界中にお弟子さんたちを送りました。どうしてかというと、みんながイエス様を信じて罪を許してもらい神様の方を向いて幸せに暮らしてほしい。そう思っているからです。

フィリポさんは聖霊に連れられて、偉いお役人さん(聖書では宦官と書かれています)のところへやってきました。エチオピア女王の元で働いているこのお役人さんは外国語も話せるし、仕事も順調でとてもお金持ちだったそうです。周りから見ると充実し、幸せそうに見えます。けれども、お役人さんは自分の中から出てくる不安や周りの人のいじわるや陰口などでいつも悩んでいたのです。

そこで、お役人さんは本当の神様に救ってもらいたい、そう思う一心で遠いエチオピアからエルサレムまで礼拝に出かけました。帰る途中、彼は馬車の中で聖書を読んでいました。そんな中、聖霊がフィリポさんにあの馬車を追いかけてなさいと言いました。フィリポさんが追いかけて行くと、中から聖書を読む声が聞こえてきました。フィリポさんは「読んでいることがお分かりになりますか？」と聞きました。するとお役人さんは「分からないのです。預言者は誰についてこう言っているのでしょうか？」と聞き返しました。

イザヤ書 53：7～8 読む。お役人さんはこの箇所を読んで自分の事が書いてあるように思っていたのです。ですが、フィリポさんは「これはイエス様が世界中の人達を救うために、みんなの罪や悲しみを一人で背負い十字架の上で死なれたことが書かれています。その後、イエス様が復活されたこと、イエス様を信じて洗礼を受けた人は誰でも罪が許され、神様の家族になれる」ことを教えました。

お役人さんは「こんな外国人の私でも洗礼を受けられるのでしょうか？」と尋ねました。フィリポさんはもちろんと言ってお役人に洗礼を授けました。そうするとお役人さんの辛かったことがまるでうそのように無くなり、喜びがあふれて出てきました。

聖書は難しいです。僕も読んでいて、疑問に思うこと、分からないことがたくさんあります。ですので、誰かから教えてもらう必要があります。僕は聞いたばかりの時は分かったつもりになるのですが、すぐに忘れてしまいます。なので、毎週来なくてはならないのです。

最後にマタイによる福音書 7:7~8 を読みます。「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。だれでも求める者は受け、探すものは見つけ、門をたたく者は開かれる」 こう書いてあります。

神様はいつもイエス様を通して聖霊を通して私たちを導き許し、守ってくれるのです。今日から教会は再開しました。みんなで喜び感謝しながら教会生活を過ごしましょう。

お祈り

神様、日曜日の朝、礼拝の時を感謝します。

聖書から最初の教会の人々の姿から信仰について知ることができました。

自分の明日を支えてくださるのは神様であるということ信じ、神様の前で正直であるように

私達をお導きください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

<渡辺 信>

20.5.17 CS 説教『教会で、いちばん大切なこと』

新約聖書：使徒言行録 6 章 1~7 節 (223 ページ)

こどもさんびか：131『かなしいことがあっても』

【教会でいちばん大切なこと】

今は、これまで、当たり前に出ていたこと、毎日幼稚園や学校へ行くこと、日曜日に教会へ行くことが、できなくなっています。でも、今日も、このような形で礼拝を捧げることができ、とてもうれしく思います。

さて、今日のこの礼拝を捧げるために、逗子教会でどんな御用をしている人がいるか、わかりますか？

今、みなさんに見えるのは、私だけです。私は、神様のお話をする、という御用をしています。ほかに、オルガンを弾いている人、ユーチューブの操作をしている人、聖書箇所や讃美歌の歌詞を壁に映し出す人、照明やマイクの具合を見ている人がいます。別の日には、教会のお掃除をする人、週報を作る人もいます。礼拝に人が集まる時は、受付をする人や、礼拝後の食事の用意をする人もいます。学校や幼稚園でも、いろんな係がありますね。日直さん、給食当番さん、掃除当番さん・・・ほかにもいろいろあるかもしれません。それを先生が全部やっていたら、先生は、みんなの勉強の準備ができなくなってしまう。教会でも、牧師先生が教会の御用を全部していたら、とても大変です。

さっき読んだ聖書の箇所には、2千年前の、最初の教会のことが書いてありました。十字架にかけられたイエス様が死んで葬られ、3日目によみがえり、やがて天に昇られました。その後、お弟子さんたち

に聖霊を送ってくださり、お弟子さんたちは、イエス様のことを人々に伝える働きをしました。その時できたのが、最初の教会です。お弟子さんたちの話を聞いて、多くの人々が神様を信じるようになり、教会に集まってきました。そこでは、みんなで食べ物やお金を持ち寄り、一緒に生活しながら、毎日熱心に礼拝を捧げていました。ところが、困ったことが起きたのです。教会では、神様に選ばれた12人の使徒、と呼ばれるお弟子さんがみんなのお世話をしながら、礼拝を捧げ、神様のことばを伝えたり祈ったりしていましたが、ある時、食べ物の中で、争いが起こりました。「私たちには、少ししか食べ物が来ない」「あの人たちはたくさんもらっていて、不公平だ」と、使徒たちに訴えました。「わかったわかった、じゃあもう少し分けてあげましょうね」などと、あっちこっちの言い分を聞きながらお世話をしているうちに、使徒たちはへとへとになってしまいました。これでは、礼拝の準備も十分に出来ません。そこで使徒たちは、教会のみんなに集まってもらいました。「みなさん、聞いてください。私たちは、イエス様から、大事な御用をするように言われました。それは、神様のことばを皆さんに伝えること、神様にお祈りし、礼拝を捧げることです。それが、教会で一番大切なことです。このまま食事のお世話や相談に乗っていると、その一番大切なことが十分できなくなってしまいます。そこで皆さんにお願いがあります。みなさんの中から、教会のために働いてくれる人を7人、選んでください。その人たちに、食事のことや困っている人のお世話をお願いすることにしましょう。そうして、みんなで愛し合い、助け合う教会にしていきましょう。」集まった人たちは賛成し、自分たちの中から7人を選びました。その人たちは、教会の中のいろんな御用をし、使徒たちが、いちばん大切な御用をすることができるように、助けました。

教会の中の御用は、どれも大切ですが、いちばん大切なのは、神様のことばを集まった人たちに伝えること、神様にお祈りすることです。教会は、『イエスさまが私たちの救い主である』ということを経験した人々に伝えるために建てられました。教会で、神様のことばを聞くことは、私たちの生活の中で、とても大切なことです。毎週、教会で神様のことばを聞いていると、他の人に対してついやな気持ちになった時(言われたことに腹が立ったりした時)、言い返したり仕返ししたりするのではなく、相手のためにお祈りすることができるようになります。とても悲しくなった時、一人で泣いているのではなく、「神様助けてください」と祈ることができるようになります。ですから、一人でも多くの人に神様のことばを伝えることが、大切なんです。

一日も早く、CSのみんなと教会で礼拝できるよう、祈っています。

お祈り

神様、日曜日の朝、礼拝の時を持つことができ、ありがとうございます。私たちにくださった神様のことばを、毎日の生活の中で思い出して、困ったときは助けてくださいとお願いし、うれしい時はありがとうございますと感謝することができますよう、いつも私たちを見守っていてください。CSのお友達一人一人の心と体の健康を守ってください。

イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。

<久保島 郁子>